

交通安全教育ビデオ

VHS
DVD

推薦：(財)全日本交通安全協会
(社)青少年育成国民会議

30代の受刑者

刑務所に入ってわかったことは
飲酒運転は交通犯罪であると…

飲酒運転が人生を狂わせた 受刑者と遺族の悲痛な叫び

遺族の願いは
飲酒運転の根絶



DVD・ビデオ【字幕版あり】
時間：約25分



大きくなったら悟の事、
たくさん話して聞かせると思うよ。

飲酒運転が人生を狂わせた

受刑者と遺族の悲痛な叫び

企画意図

交通事故は決して偶然に発生するものではありません。気の緩みや交通違反などを日々の運転行動の中で積み重ねる事によって、自ら事故を招いているのです。飲酒運転事故も例外ではありません。「これくらいの酒なら、大丈夫だろう」「ちょっと一杯だけ」……

誰もが、そう思ってハンドルを握ったために、思いがけない死亡事故が数多く起こっています。

この作品では、実際、交通刑務所の受刑者の生の声を通して事故の原因を探ると共に、飲酒運転によって引き起こされた交通事故が、加害者、被害者はもとより、その家族や周りの人たちまでも巻き込み、いかに多くの人たちを悲しませ、苦しませているかを描く事によって、飲酒運転による事故の恐ろしさ、悲惨さを訴えるものです。

作品の大まかな内容

■ドライブレコーダーが捉えた事故の瞬間 それが被害者の見た最後の景色になった…

兵庫県尼崎市で起きた飲酒運転死亡事故。衝突されたタクシーのドライブレコーダーに残る映像には、センターラインを超え、対向車線に突っ込んでくる加害者の車が映し出されている。この事故で亡くなったタクシー運転手・岩田浩一さんの遺族から、事故の様子と現在の心境を聞き出す。

加害者は仕事帰りに酒を飲み、飲酒運転を繰り返していた。判決は、懲役23年だった…

■市原刑務所での受刑者インタビュー 「なぜ事故を起こしたのか？事故後のつらい思いは…」

最初の受刑者は五十代の会社員。
「今まで、事故も飲酒運転もしなかったのに、忘年会でちょっと酒を飲み、仮眠した後に…」
受刑者の言葉からは、ふとした心の隙から誰もが加害者になり得るといふ恐怖が伝わってくる。

次の受刑者は30代の長距離トラックドライバー
「休憩中に早く仮眠をとりたいと思って缶酎ハイを飲んだことが……」

数名の受刑者のインタビューや事故の再現映像を通して、改めて飲酒運転事故の悲惨さ、罪の深さが浮きぼりとなる。

そして最近、飲酒運転の違反歴があるドライバーの調査では、アルコール依存症の疑いがあるドライバーが、事故を多く起こす傾向がある事も、重要視されている。

■遺族たちの癒えぬ心の傷跡

悪質ドライバーによる飲酒運転事故で亡くなった祝部(ほうり)悟さん。25歳の若さだった。

事故で失ったものの大きさは、体験した者でしか分からない、と多くの遺族たちは言う。
悟さんのこれまでの人生、人柄、希望に溢れていた未来…ご両親のつらい胸中の告白に、飲酒運転根絶への願いを新たにします。

■飲酒運転根絶を目指して—受刑者の悔恨の叫びを多くの人に聞いて欲しい

ある受刑者は、こう振り返った。
「自分がやってしまった事というのは、交通事故ではない、と刑務所に入ってから気がついた…飲酒をして車を運転すること自体が人殺しと何ら変わらない犯罪だと…」

●推 薦 (財)全日本交通安全協会
(社)青少年育成国民会議

●スタッフ 制作統括・監督 高木 裕己
撮 影 松尾 研一
音 楽 加藤由美子
演出補佐 阿部伸太郎
C G 代々木工房
ナレーター 桐山 ゆみ

●協 力 市原刑務所

●お問い合わせ、お買い上げは……

・お問合せ・お申込みは

(映)有限会社

博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp